

事業概要説明シート

事務事業番号 10302210011

事務事業名	文化観光協会負担金交付事業		類似事業グループ	6.負担金交付	
事業期間	平成18年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課	
総合計画体系	(施策目標)				
公約		行政改革実施プラン	○	質疑意見等	(市議会) (監査委員) ○

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	観光資源の開発及び活用、観光施設の整備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整などの業務の実施と文化観光協会の円滑な運営。
対象(誰・何を対象に)	枚方文化観光協会
事業内容	枚方文化観光協会の業務を実施するための体制を確保するため会費として負担金を交付。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	文化観光協会は、観光資源の開発及び活用、観光施設の整備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整などの業務を実施している団体であり、団体の円滑な運営のための会費収入として必要。

コスト																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>0.1人</td> <td>800千円</td> <td>0.05人</td> <td>395千円</td> <td>0.05人</td> <td>397千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>人</td> <td>0千円</td> <td>人</td> <td>0千円</td> <td>人</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>800千円</td> <td></td> <td>395千円</td> <td></td> <td>397千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>4,350千円</td> <td></td> <td>4,350千円</td> <td></td> <td>4,350千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>5,150千円</td> <td></td> <td>4,745千円</td> <td></td> <td>4,747千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	0.1人	800千円	0.05人	395千円	0.05人	397千円	再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人件費計(A)		800千円		395千円		397千円	直接経費(B)		4,350千円		4,350千円		4,350千円	総事業費(A+B)		5,150千円		4,745千円		4,747千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																																				
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																			
正職員	0.1人	800千円	0.05人	395千円	0.05人	397千円																																																			
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円																																																			
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円																																																			
人件費計(A)		800千円		395千円		397千円																																																			
直接経費(B)		4,350千円		4,350千円		4,350千円																																																			
総事業費(A+B)		5,150千円		4,745千円		4,747千円																																																			

財源内訳																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>5,150千円</td> <td></td> <td>4,745千円</td> <td></td> <td>4,747千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算		国庫支出金		千円		千円		千円	府支出金		千円		千円		千円	受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	その他		千円		千円		千円	一般財源		5,150千円		4,745千円		4,747千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																						
国庫支出金		千円		千円		千円																																					
府支出金		千円		千円		千円																																					
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円																																					
その他		千円		千円		千円																																					
一般財源		5,150千円		4,745千円		4,747千円																																					

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	会費負担金(3万円×145口)	4,350千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302210011

事務事業名	文化観光協会負担金交付事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業開始年度	平成18年度 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 観光協会の主催事業数	事業	39	40	38
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/観光協会の主催事業数	円	132,051	118,625	124,921
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	文化観光協会の事業の着実な実施と運営				
成果目標 達成状況	年度当初の予算計画に基づき実施されている。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	負担金交付のPRは特に行っていない。				
市民満足度	測定していない				
特記事項	平成25年度実施された包括外部監査において、「負担金支出のあり方を検討すべき」との指摘を受け、「活動補助金とあわせて、事業費補助や委託事業への移行などの検討を進める」と回答しており、今後は文化観光協会との調整を進める。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	包括外部監査での指摘等を踏まえ、負担金のあり方について検討を行う。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を精査し、体制の自立化の方向を検討 ・達成目標の指標は妥当か。 ・事業自体の費用対効果について、検証の必要性あり。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	包括外部監査での指摘等を踏まえ、活動補助金とあわせて負担金のあり方について検討を行う。

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200007

事務事業名	枚方市魅力発信事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	2010(H22)年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課
総合計画体系	(施策目標) 人と情報の交流を促進する			
公約	行政改革実施プラン		質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(枚方ウエディング実行委員会)
目的(何のために)	「住みたい住み続けたいまち」の実現に向け、また花と音楽にあふれたまちづくりの推進事業の一環として、市内の資源を活用した結婚式「ひら婚♪」を行う。さらに、市内の観光・文化に関わる名所についてPRを図り、枚方の魅力を発信する。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	関西大学政策創造学部・深井ゼミ、京阪電気鉄道株式会社、枚方市の三者で構成する、枚方ウエディング実行委員会が、枚方市やひらかたパークに思い入れのある抽選で選ばれた1組のカップルを対象に結婚式の企画・運営を行っている。事業実施にあたり、新聞等メディアを大いに活用し、枚方の魅力を広くアピールする。また、25年度は、市内の観光・文化の名所を紹介する「舟運事業」「旧渚院跡」「旧枚方宿を巡るふとん太鼓」「市立枚方宿鍵屋資料館の菊」「日本の里100選穂谷のコスモス」についてのパネルを作製し、広く市民にPRを図った。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	「住みたい住み続けたいまち」の実現に向け、行政が主体となり枚方の魅力発信を事業として行うことは重要である。

コスト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.3人	2,400千円	0.3人	2,372千円	0.3人	2,381千円	
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)		2,400千円	2,372千円	2,381千円			
直接経費(B)		870千円	250千円	751千円			
総事業費(A+B)		3,270千円	2,622千円	3,132千円			

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金		千円	千円	千円			
府支出金		千円	千円	千円			
受益者負担(使用料等)		千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円			
一般財源		3,270千円	2,622千円	3,132千円			

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	「ひら婚♪」実行委員会負担金	50千円
	本市の文化・観光を本市内外にPRするためのパネル及びタペストリー等作製費	200千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200007

事務事業名	枚方市魅力発信事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	2010(H22)年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 「ひら婚♪」実施回数	回	1	1	1
	② 新聞での記事掲載回数	回	6	7	5
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/実施回数	円	3,270,000	6,970,000	7,895,000
	② 総事業費/新聞での記事掲載回数	円	545,000	374,571	626,400
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	「ひら婚♪」の事業の実施にあたり、新聞等メディアを通じて枚方の魅力を広く発信する。市内の文化・観光を紹介するパネル・タペストリーを掲示し、市内外にPRする。				
成果目標 達成状況	挙式者募集の際や事業実施後には新聞等に掲載されるなど、新聞等メディアを通じて枚方の魅力を広く発信する契機となった。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」や市ウェブサイト及び市記者クラブ等を通じて事業PRを行っている。				
市民満足度	「ひら婚♪」終了後の参列者アンケートでは、ひらかたパークでの手作りの挙式に「イメージアップにつながる」「うらやましい」など継続を希望する声が多くみられた。				
特記事項	600種4,000株のバラが咲き誇る、ひらかたパークのローズガーデンを会場に、25年度は、市内吹奏楽団・枚方ベアーズプラスによる祝福の演奏、市内事業者が作製したウェディングケーキの使用、ローズガーデンでの記念撮影、絶叫マシン・メテオを用いた演出、ひらかたの観光大使くらわんこの登場など、枚方ならではの結婚式を実施し、テレビや新聞等を通じて広く発信を行った。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	本事業の実施にあたっては、学生が事業実施に必要なノウハウを蓄積してきたこともあり、今後の市の関わり方について検討が必要ではあるが、今後も事業の実施などの際には、メディアを効果的に活用し、本市の魅力を広く発信していく。また、枚方八景である国見山の眺望看板設置については、台風18号の被害を受けた国見山散歩路の修復の様子を見ながら実施する。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・市のPRかイベントのPRか効果検証 ・「ひら婚」1回の実施で、事業目的が達成できるのか。 ・今後の方向性として、事業内容の抜本的見直し・検討が必要では。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	本事業は、関西大学のゼミ活動の一環でもあり、また準備に約半年の期間を要することから現状の件数を増やすことは難しいと考える。今後は、市と事業のPRをあわせた、効果的な市の魅力発信手法の検討を行う。

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200009

事務事業名	ひらかた観光ステーション施設運営事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業期間	1994(H6)年 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課
総合計画体系	(施策目標) 人と情報の交流を促進する		
公約	<input type="radio"/>	行政改革実施プラン	質疑意見等 (市議会) (監査委員)

根拠法令	市民ふれあいセンター管理規則、市民課サービスセンター管理規則、枚方市パスポートセンター管理規則、枚方市立生涯学習市民センター条例(ふれあいホール)
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	市内の観光資源・文化などの多様な情報提供を行う、本市の観光情報発信拠点である、「ひらかた観光ステーション」を含む市駅市民サービスセンターの管理運営経費を支出するため。
対象(誰・何を対象に)	京阪流通システムズ
事業内容	ひらかた観光ステーションを含む市駅市民サービスセンターの管理運営経費(共益費、清掃費、設備保安料、電気代、水道代)を負担金として、京阪流通システムズへ支出。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	本市の玄関口としての地理的メリットを生かした、市民への多様な情報提供や市民相互の交流の場である「ひらかた観光ステーション」等の適切な管理運営のため必要。

	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.1 人	400 千円	0.1 人	395 千円	0.1 人	397 千円
再任用職員	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)		400 千円		395 千円		397 千円
直接経費(B)		13,759 千円		14,568 千円		15,000 千円
総事業費(A+B)		14,159 千円		14,963 千円		15,397 千円

財源内訳	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源	14,159	千円	14,963	千円	15,397	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	管理運営経費(共益費、清掃費、設備保安料、電気代、水道代)	14,568 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200009

事務事業名	ひらかた観光ステーション施設運営事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業開始年度	1994(H6)年 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① ひらかた観光ステーション来場者数	人	24,181	33,820	35,000
	② ひらかた観光ステーション開館日数	日	359	358	359
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/来場者数	円	585	442	440
	② 総事業費/開館日数	円	39,440	41,796	42,889
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	施設の開館を支障なく、予定通り行うことを目標としている。				
成果目標 達成状況	平成25年度は、消費税の増税にともなう作業があり、3月末に1日臨時休業となったが、概ね適切に管理運営が行えた。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	ひらかた観光ステーションのスペースは、枚方市駅東改札口前の好立地にあり、また京阪電気鉄道(株)より無償借用しているため、他の自治体よりも低コストで高いサービス水準であると考えている。				
事業のPR	施設の管理運営について、特にPRは行っていない。				
市民満足度	測定していない				
特記事項	枚方市駅高架化に伴い公共スペースとして京阪電気鉄道株式会社より無償借用。平成6年に「市民ふれあいセンター」を開設。市内文化情報の提供や友好都市の物産スペースの常設、障害者の就労支援として喫茶「わお」、ふれあいホールを設置。平成14年度にはエフエムひらかたのサテライトスタジオを開設。平成24年度に喫茶「わお」、エフエムひらかたのサテライトスタジオを撤去し、内装を一新した上で「市民ふれあいセンター」を「ひらかた観光ステーション」としてリニューアルオープンした。また、同時に「枚方市パスポートセンター」を設置し、来場者数の増加につながっている。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	リニューアルした「ひらかた観光ステーション」の発信効果を高めるためにも、引き続き施設内の環境改善を図る。
----------------------------------	---------	--

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課の回答において、「文化観光協会負担金交付事業」との統合・整理は無理とのことだが、事業自体の費用対効果については検証の必要性あり。 ・目標は、事業目的に対して妥当か。
--------	---

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		
----------------------------------	--	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230013

事務事業名	「マルシェ・ひらかた」開催事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	2010(H22)年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課
総合計画体系	(施策目標) 23:市内産業の高度化・活性化を図る			
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(マルシェ・ひらかた実行委員会)
目的(何のために)	市内産業に対する市民の理解を深めるとともに、新たなにぎわいを創出し、幅広い世代に枚方の魅力を発信することを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	産業関連携の促進と地産地消の推進を目的に、市内の商業、工業、農業、観光の団体と連携し、地元農産物を中心として市内企業等の商品も販売するまち中市「マルシェ・ひらかた」を枚方市駅周辺で開催する。また、参加事業者の異業種間交流による新たな枚方製品の創出の可能性を探る。実施主体は、「マルシェ・ひらかた実行委員会」(構成団体/枚方市農業研究会/北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方市商業連盟、枚方文化観光協会、枚方市)。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	商・工・農・観光間の連携をスムーズに行い、地域の活性化と魅力を発信するには行政として支援することが必要である。

コ ス ト																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>0.6 人</td> <td>5,040 千円</td> <td>0.7 人</td> <td>5,613 千円</td> <td>0.7 人</td> <td>5,636 千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>人</td> <td>0 千円</td> <td>人</td> <td>0 千円</td> <td>人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>5,040 千円</td> <td></td> <td>5,613 千円</td> <td></td> <td>5,636 千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>367 千円</td> <td></td> <td>300 千円</td> <td></td> <td>1,350 千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>5,407 千円</td> <td></td> <td>5,913 千円</td> <td></td> <td>6,986 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	0.6 人	5,040 千円	0.7 人	5,613 千円	0.7 人	5,636 千円	再任用職員	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人件費計(A)		5,040 千円		5,613 千円		5,636 千円	直接経費(B)		367 千円		300 千円		1,350 千円	総事業費(A+B)		5,407 千円		5,913 千円		6,986 千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																																				
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																			
正職員	0.6 人	5,040 千円	0.7 人	5,613 千円	0.7 人	5,636 千円																																																			
再任用職員	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円																																																			
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円																																																			
人件費計(A)		5,040 千円		5,613 千円		5,636 千円																																																			
直接経費(B)		367 千円		300 千円		1,350 千円																																																			
総事業費(A+B)		5,407 千円		5,913 千円		6,986 千円																																																			

財源内訳																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>5,407 千円</td> <td></td> <td>5,913 千円</td> <td></td> <td>6,986 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算		国庫支出金		千円		千円		千円	府支出金		千円		千円		千円	受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	その他		千円		千円		千円	一般財源		5,407 千円		5,913 千円		6,986 千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																						
国庫支出金		千円		千円		千円																																					
府支出金		千円		千円		千円																																					
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円																																					
その他		千円		千円		千円																																					
一般財源		5,407 千円		5,913 千円		6,986 千円																																					

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	「マルシェ・ひらかた」実行委員会へ支払う負担金	300 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230013

事務事業名	「マルシェ・ひらかた」開催事業		類似事業グループ	8. イベント関係
事業開始年度	2010(H22)年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 1年回の開催数	回	4	3	1
	② 来場者数	人	3,700	8,500	10,000
	③ 出店者数(のべ)	件	97	83	57
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/開催数	円	1,351,750	1,971,000	6,986,000
	② 総事業費/来場者数	円	1,461	696	699
	③ 総事業費/出店数	円	55,742	71,241	122,561

目標とする成果 (費用対効果含む)	「マルシェ・ひらかた」に出店する1開催当たりの出店舗数の拡充(「マルシェ・ひらかた」に出店した農家・事業者等の合計(年間出店者数合計÷開催回数))と来場者数の増加。平成22年11月から約3年にわたり、市民に安全で安心な農産物の提供を行い地産地消の推進と都市農業の振興を図るとともに、「農、商、工、観光」の産業関連携を図り「つながる場」づくりに取り組む。				
----------------------	--	--	--	--	--

成果目標達成状況	25年度は25件の目標出店舗数に対し、27件が出店し賑わいを見せた。また、各産業が連携した取り組みを行い、横のつながりが強まるとともに市内産業のPRができた。	目標達成度	目標を上回る
----------	---	-------	--------

比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
---------------------------------	--	--	--	--	--

事業のPR	「広報ひらかた」や市ウェブサイトへの記事掲載や、チラシポスターを作成し市役所や関係各所に掲示しPRに努めた。				
-------	--	--	--	--	--

市民満足度	25年度12月に開催したマルシェの来場者アンケートによれば、98件の回答数の内94件が今後も「マルシェ・ひらかた」の継続を希望していた。アンケートの中には、「もっともっと規模が大きくなれば嬉しいです。」「楽しい。色々な店が出てよかったです。」など今後の開催を希望する好意的な意見が多く見られた。				
-------	---	--	--	--	--

特記事項	開催回数について、効率的かつ効果的に集中して事業を行うことで、市民の来場を促し、出店者の確保も期待できることから、25年度は年3回の開催を実施した。7月6日(出店数23、来場者数約3,000人)、9月26日(出店数19、来場者数約1,500人)、12月25日(出店数39、来場者数約4,000人)。また、出店者の意見などを踏まえ、運営面を市主体から事業者主体とするため、実行委員会の中に運営部会を設置した。なお、26年度は北河内農業協同組合と北大阪商工会議所からそれぞれ300,000円が負担金として実行委員会に拠出され、市の負担だけではなくなっている。				
------	---	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	拡充・重点化	これまでの、出店数が20店程度のマルシェを年数回実施していたが、今後は、実施回数を年1回としたうえで、出店数を57店に拡大し、集客力を高めるとともに、準備期間を長くし、より充実した内容で食を中心とした市内産業のPRを図る。また、農家と事業者及び商店街等がコラボレーションし、枚方産ブランド商品の開発や商店街の活性化など、市内産業を市内外に広くPRする場として活用できるイベントとなるよう検討をすすめる。
----------------------------------	--------	---

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 販売以外市が期待する成果が上がっていないのでは 本事業は監査からの指摘も受けており、費用対効果の再検証の必要性を感じる。 				
--------	---	--	--	--	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策					
----------------------------------	--	--	--	--	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10301160002

事務事業名	にぎわい空間創出事業		類似事業グループ	8.イベント関係	
事業期間	2007(H19)年度	～	担当部署	地域振興部地域振興総務課	
総合計画体系	(施策目標) 16:人が集い、魅力と活力あるれる中心市街地をつくる				
公約		行政改革実施プラン		質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	枚方市駅周辺エリアを市民文化発信のコア地区と位置づけ、地域を活性化するため、岡東中央公園(にぎわい広場)で開催される各種イベント等を支援し、にぎわいの空間を創出する。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	市民などが開催する各種イベントなどが効果的に行われるように、会場支援、備品の貸し出しや、広報支援、日程の調整などを行う。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	市民文化の推進と地域活性化のため、無償で表現の場を提供するなど行政による支援は重要であると考えられる。

コスト										
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	
正職員		0.1人	800千円	0.1人	791千円	0.1人	794千円			
再任用職員			0千円		0千円		0千円			
非常勤職員等										
人件費計(A)			800千円		791千円		794千円			
直接経費(B)			0千円		0千円		0千円			
総事業費(A+B)			800千円		791千円		794千円			

財源内訳							
		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源		800	千円	791	千円	794	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額

事業概要説明シート

事務事業番号 10301160002

事務事業名	にぎわい空間創出事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	2007(H19)年度 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 市民主催のイベント実施回数	回	10	11	12
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/イベント実施回数	円	80,000	71,909	66,167
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	枚方市駅周辺エリアを市民文化発信のコア地区として位置づけ、岡東中央公園(にぎわい広場)を拠点に地域の活性化と市民文化の促進を図る。				
成果目標 達成状況	25年度は、市民団体によって、市駅周辺のにぎわいの創出を目的とした、音楽ライブや模擬店の出店、東日本大震災復興チャリティーイベントなど2団体2件実施(合計集客数約3,200人見込み)。岡東中央公園で開催されたにぎわいイベントは合計で11件(約80,900人)			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」などで事業のPRを行っている。				
市民満足度					
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	より多くの市民がにぎわい広場を利用できるようにするため、事業支援申請受付期間について、「14週間～6週間前」から「6か月～2か月前」に支援基準の改正を行った。 また、岡東公園の利用促進のため、少雨でもステージイベントが実施できるよう、ステージに屋根を設置するなど環境整備に努める。
一次評価結果	・能動的な活動が見えづらい	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200001

事務事業名	海外友好都市交流推進事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	1987(S62)年度 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課	
総合計画体系	(施策目標) 人と情報の交流を促進する			
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 外郭団体等)
	<input type="checkbox"/> その他()

目的(何のために) 教育・文化・スポーツ・経済等の分野にわたって、市民レベルの友好交流を促進し、相互理解と信頼を深め、都市間の友好の絆を強める。

対象(誰・何を対象に) 市民

事業内容 中国上海市長寧区との交流については、平成26年1月11日～16日に教育委員会の協力の下、児童書画展を開催し、中央図書館玄関ホールに長寧区から児童書画80点(絵画50点、書30点)の展示を行った。韓国霊岩郡との交流については、大阪日韓親善協会主催の「王仁まつり」(平成25年11月3日)に出席する霊岩郡行政訪問団18名を受入れた。オーストラリアローガン市との交流については、枚方市から中学生の派遣を予定していたが、ローガン市側の調整がつかず中止となった。また、枚方市在住外国人の生活をサポートするための「外国人のための枚方生活ガイド」(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語)の改訂をした。

目的が同種の事業(国・府・市・民間) なし

事業の必要性 海外友好都市との交流は、行政間で交わした事業確認書に基づき実施される事業である。

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.3人	2,400千円	0.3人	2,372千円	0.3人	2,381千円	
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)		2,400千円		2,372千円		2,381千円	
直接経費(B)		1,264千円		263千円		1,169千円	
総事業費(A+B)		3,664千円		2,635千円		3,550千円	

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源		3,664千円		2,635千円		3,550千円	

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	霊岩郡行政訪問団受け入れに伴う交流会経費		254千円
	霊岩郡行政訪問団に贈呈する記念品交流費		9千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200001

事務事業名	海外友好都市交流推進事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	1987(S62)年度 ~	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 海外友好都市の派遣受入事業数	事業	5	3	3
	② 海外友好都市の派遣受入人数	人	45	18	44
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/派遣受入事業数	円	732,800	878,333	1,183,333
	② 総事業費/派遣受入人数	円	81,422	146,389	80,682
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	海外友好都市との交流事業を推進し、海外友好都市についての市民の認知度を向上させる。また、庁内の国際化に向けた取組みを進める。				
成果目標 達成状況	3つの交流事業を予定していたが、オーストラリアローガン市側の調整がつかなかったため、枚方市より青少年訪問団を派遣できず、交流数が2となり目標を達成できなかった。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」や市ウェブサイトなどに交流内容について記事掲載し、PRを図っている。				
市民満足度	海外友好都市との交流により、市民による国際交流ボランティアの活動も活発になってきている。				
特記事項	海外友好都市から訪問団を受入れする際は、語学ボランティアにも交流会に参加してもらい、積極的に市民との交流を図っている。今後も、海外友好都市との交流事業を推進し、市民への周知と国際交流の発展に努めたい。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	友好交流確認書等に基づく交流事業を実施し、友好交流を促進する。なお、オーストラリア・ローガン市との交流内容を再検討し、枚方市文化国際財団と連携を図りながら、新たな展開を模索する。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 交流内容の重点化を検討しては。 今後の方向性として現状のまま継続とのことだが、早急な事業内容の見直し・検討が必要では。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200003

事務事業名	国内友好都市交流推進事業		類似事業グループ	8.イベント関係	
事業期間	昭和49年度 ~	担当部署	地域振興部 地域振興総務課		
総合計画体系	(施策目標) 人と情報の交流を促進する				
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 旅行会社) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	友好都市との交流を深め市民への認知度を高める。教育・文化・産業等の各分野で相互交流を行う。
対象(誰・何を対象に)	枚方市及び国内友好都市の市民
事業内容	国内友好都市との例年行われる交流事業として、別海町とは「少年少女ふれあいの翼」において、隔年で相互に中学生が訪問し、また別海町が実施する酪農青年と関西の女性との交流事業「菊と緑の会」に協力するなどの交流を実施。 名護市とは、「やんばる産業まつり」への出店を行うなどの交流を実施。 四万十市とは、他の友好都市を含めた「友好・交流都市物産展」などにおいて交流を実施。 この他、「友好都市サミット」の開催や各友好交流都市で行われている市民が参加できるイベントを本市の広報紙等で周知している。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)

事業の必要性 友好都市との交流を実施することで、友好都市とさらなる親交を深めるため

コスト											
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算			
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.4人	3,200千円	0.4人	3,162千円	0.4人	3,175千円	0.4人	3,175千円	0.4人	3,175千円	3,175千円
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	人	0千円	人	0千円	0千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	千円
人件費計(A)		3,200千円		3,162千円		3,175千円		3,175千円		3,175千円	3,175千円
直接経費(B)		1,756千円		1,327千円		3,137千円		3,137千円		3,137千円	3,137千円
総事業費(A+B)		4,956千円		4,489千円		6,312千円		6,312千円		6,312千円	6,312千円

財源内訳											
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算			
国庫支出金			千円			千円					千円
府支出金			千円			千円					千円
受益者負担(使用料等)			千円			千円					千円
その他	450	千円		39	千円		525	千円			千円
一般財源	4,506	千円		4,450	千円		5,787	千円			千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	旅費(菊と緑の会、やんばる産業まつりなどへの参加)	498千円
	消耗品費	136千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200003

事務事業名	国内友好都市交流推進事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	昭和49年度 ~	担当部署	地域振興部 地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① ふれあいの翼、菊と緑の会、友好都市市民訪問ツアーの参加者数合計	人	46	60	60
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/ふれあいの翼、菊と緑の会、友好都市市民訪問ツアーの参加者数合計	円	107,739	74,817	105,200
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	友好都市の認知度及び教育・文化・産業等の各分野で相互交流の向上				
成果目標 達成状況	「菊と緑の会」は30年以上、「青少年ふれあいの翼」は20年以上にわたって、友好都市と継続して実施しており、認知度の向上が図られている。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」や市ウェブサイトへの記事掲載や、チラシを作成しPRに努めた。また、「菊と緑の会」「青少年ふれあいの翼」事業は、新聞各紙でも掲載された。				
市民満足度	測定していない				
特記事項	平成25年度の事務事業総点検での指摘を受け、平成26年度からは、「青少年ふれあいの翼」について、参加者から提出のあった感想文をホームページ等に掲載し、事業のフィードバックを行うこととしている。また、参加者自身の費用負担についても、3万円から3万5千円に増額するなど事業の見直しを行った。なお、それぞれの事業の参加人数は、少数であるが、参加者の安全の確保や受け入れ先である友好都市との兼ね合いなどもあり、毎年継続して実施するためには、妥当な人数と考える。また、事業の実施については、新聞大手各紙に取り上げられるなど十分な本市のPR効果がある。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	今後も引き続き、友好都市と協力をしながら、親交を深め、認知度が向上する取り組みを進める。 また、友好都市での産業イベントなどに参加する際には、行政関係者だけではなく、市内の商業団体や経済団体などにも参加を働きかけ、枚方の物産をPRするなど民間事業者と一体となった都市交流事業となるよう努める。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・所管課の回答において幅広い市民参加のイベントもあるとのことで、むしろ多くの市民対象のイベントを中心とした事業経費として活用するよう再検討する必要があると思われる。 ・事務事業総点検により改善されたか。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200005

事務事業名	友好・交流都市物産展開催事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	昭和59年度 ~	担当部署	地域振興部 地域振興総務課
総合計画体系	(施策目標) 人と情報の交流を促進する		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	友好・交流都市物産展開催決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	友好都市交流の一環として、国内各友好都市の物産展を枚方市民との「ふれあいの場」として位置付け、広く市民に友好都市の特産物の普及・宣伝を行うことを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	都市交流事業の一環として、毎年11月に友好都市(四万十市、別海町、名護市)や市民交流都市(伊達市、天川村、波佐見町)・旧友好都市で現在も地域間交流を継続している高松市(旧塩江町)及び枚方市の物産展を岡東中央公園において実施する。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	枚方市駅観光拠点事業
事業の必要性	都市交流事業は、友好都市との相互交流が重要であり、その交流事業の一環として、物産展を開催しさらなる親交を深めるもの。

コスト										
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	
正職員	0.2人	1,600千円	0.2人	1,581千円	0.2人	1,588千円				
再任用職員		0千円		0千円		0千円				
非常勤職員等										
人件費計(A)		1,600千円		1,581千円		1,588千円				
直接経費(B)		198千円		229千円		302千円				
総事業費(A+B)		1,798千円		1,810千円		1,890千円				

財源内訳										
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算		
国庫支出金			千円		千円		千円		千円	
府支出金			千円		千円		千円		千円	
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円		千円	
その他			千円		千円		千円		千円	
一般財源		1,798千円		1,810千円		1,890千円				

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	賃借料(機材レンタル)		92千円
	印刷製本費		32千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200005

事務事業名	友好・交流都市物産展開催事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	昭和59年度 ~	担当部署	地域振興部 地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 来場者数	人	27,000	5,000	5,000
	② ブース数	ブース	17	17	17
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/来場者数	円	67	362	378
	② 総事業費/ブース数	円	105,765	106,470	111,176
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	物産展への参加者数を5,000人と目標設定し、より多くの市民に友好都市をPRすることで、友好都市との交流を深める。				
成果目標 達成状況	平成24年度は、市制施行65周年記念事業の「くらわんか産業いきいきまつり」の中で開催したため、参加者数が突出しているが、その他の年度も概ね目標を達成している。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	「広報ひらかた」や本市ホームページへの事業PR記事掲載のほか、チラシを市内に配布した。また、物産展当日には、エフエムひらかたの取材があるなど、事業のPRを行っている。				
市民満足度	アンケート調査などは実施していないが、例年大勢の来場者があり、一定の市民満足は得られていると考える。				
特記事項	<p>様々な、交流事業の中でも物産展は、一番多くの市民の参加があり、友好都市を知ってもらうための重要な機会となっている。</p> <p>平成25年度は、岡東中央公園において、11月14・15日の2日間で、物産展を開催。参加人数約5,000人(主な販売物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 のりの佃煮、四万十牛コロッケ、ぽっぽ栗 ・別海町 乳製品、ホタテ貝柱、昆布 ・名護市 黒糖、海ぶどう、シークワサー果汁 ・伊達市 ホタテ、じゃがいも ・天川村 名水、いもぼたやき ・波佐見町 陶器 ・高松市 野菜 ・枚方市 枚方文化観光協会グッズ、枚方の名菓 				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	全ての友好・交流都市の参加を目指し、各都市に協力をお願いする。また、マルシェひらかたなど他のイベント事業との連携の可能性を検討する。
----------------------------------	---------	--

一次評価結果	・マルシェ事業や国内友好都市交流推進事業との連携または統合を視野に効率性と重点化を図っては。
--------	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	
----------------------------------	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10302220002

事務事業名	桜フェスティバル開催事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	2006(H18)年度 ~	担当部署	地域振興部 地域振興総務課	
総合計画体系	(施策目標) 花と音楽を生かしたまちづくりを進める			
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	ひらかた桜フェスティバル開催事業決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 枚方文化観光協会)
目的(何のために)	郷土シンボルである市の花「桜」に対する市民の認識を深める。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	以下の桜関連事業を総称して桜フェスティバルとし、市民に桜を発信。 市の花「桜」を広く周知するため、桜の開花時期にあわせ、「さくらまつり」(天野川堤防での吹奏楽演奏などのステージイベントや野点、バルーンアートなどのブース出店)を開催。 花「桜」を題材に「桜短歌会」を開催。 桜の開花情報がわかる情報コーナーを設置。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	桜に関する名所や開花状況、桜に関連したイベントなどの情報を発信することで、市民が市の花「桜」に親しみ、郷土への愛着を深めてもらうため必要な事業である。

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.4人	3,200千円	0.4人	3,162千円	0.4人	3,175千円	
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)		3,200千円	3,162千円	3,175千円			
直接経費(B)		800千円	800千円	823千円			
総事業費(A+B)		4,000千円	3,962千円	3,998千円			

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金		千円	千円	千円			
府支出金		千円	千円	千円			
受益者負担(使用料等)		千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円			
一般財源	4,000千円	3,962千円	3,998千円				

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	桜フェスティバル開催事業委託	800千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302220002

事務事業名	桜フェスティバル開催事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	2006(H18)年度 ～	担当部署	地域振興部 地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	①「さくらまつり」来場者数	人	4,500	2,000	5,000
	②「桜短歌会」応募短歌数	首	222	121	102
	③「桜短歌会」応募者数	人	150	76	102
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①「さくらまつり」来場者1人あたりのコスト	千円	1	2	1
	②「桜短歌会」応募短歌1首あたりのコスト	千円	18	33	39
	③「桜短歌会」応募者1人あたりのコスト	千円	27	52	39
目標とする成果 (費用対効果含む)	今まで以上に事業の周知に取組み、「桜短歌会」の応募者数を増加させることで、より多くの市民に郷土シンボルである市の花「桜」の意識向上につなげていく。				
成果目標 達成状況	平成25年度は、天候不良のため、さくらまつりが翌日に順延となり、その順延日も雨であったため、来場者数や応募短歌数が予測を大幅に下回った。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	該当なし				
事業のPR	「広報ひらかた」や本市ホームページへの事業PR記事掲載のほか、チラシポスターを作成し市内の全幼稚園・保育所の全児童と各小中学校の全校生徒にチラシを配布した。また、枚方市駅東口設置の掲示板などでの情報提供等によりPRを行っている。ひらかた観光ステーションに桜の開花情報コーナーを設置し、市HP上とともに、桜の開花状況について発信している。				
市民満足度	さくらまつり2013のアンケートでは、天候不良にもかかわらず回答者の半数以上が「とても楽しかった」と回答を得ている。また、桜短歌会や講評会の規模をもっと拡大してほしいとの意見もあった。				
特記事項	さくらまつりについては、平成19年2月市の花「桜」の制定以降平成20年度から7回開催し、菊と並ぶ市の花として桜が定着してきたことから、一定の役割を終えたと考えている。また、イベントの開催日と桜の開花時期を合わせることの困難さや、年度切り替え時期に実施する煩雑さ、天候への対応及び会場が河川敷であることによる強風対策・河川増水対策・河川使用の制限、水道やトイレ設備が無いなど、課題が多い。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	改善	「さくらまつり」の実施主体や場所などの開催手法を含め、本事業全体のコーディネートについて検討するとともに、市の花「桜」の効果的な総合的発信を検討する。
----------------------------------	----	---

一次評価結果	・市の役割は一定果たしており、実施主体の検討を。
--------	--------------------------

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	
----------------------------------	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10502370006

事務事業名	生涯学習市民センター活動委員会事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	平成19年度 ~	担当部署	地域振興部 生涯学習課
総合計画体系	(施策目標) 37:生涯学習を推進する		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	決裁									
実施方法	□直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)									
	■その他(市民と市が構成員となり、生涯学習市民センター活動委員会を設置。市は負担金を支出。)									
目的(何のために)	生涯学習市民センターにおいて、市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動を推進する。									
対象(誰・何を対象に)	市民									
事業内容	<p>楠葉・蹉だ・御殿山・牧野・津田・菅原の各生涯学習市民センターに、市民とセンター職員で構成する活動委員会を平成19年度に設置し、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも活動委員会を設置している。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のあるもの、③事業に関心あるものとし、センターから職員は2名としている。</p> <p>各センター活動委員会では、各センター・地域の特色を生かした市民対象の学びのきっかけとなる学習事業、文化事業及び身近に楽しめる交流事業を実施している。</p> <p><平成25年度の主な事業> 防災講座、健康講座、環境講座、里山散策、古典文学講座、子育て井戸端会議、うつ病情報交流会、陶芸講座、木工教室、子ども化学・工作教室、料理教室、音楽コンサート、寄席など。</p>									
目的が同種の事業(国・府・市・民)										
事業の必要性	市民と連携・協力して事業の企画・立案・実施に取り組むことで、市民の自主的な活動を促進しまちづくりに繋げていくとともに、事業への参加者を増やしていくことで、多くの市民に対し学びのきっかけ作りを進めていく。									
コスト	H24年度決算		H25年度決算				H26年度当初予算			
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	2.3人	18,640千円	2.4人	18,737千円	2.3人	18,257千円	2.3人	18,257千円	2.3人	18,257千円
再任用職員	0.7人	2,430千円	0.7人	2,262千円	0.7人	2,712千円	0.7人	2,712千円	0.7人	2,712千円
非常勤職員等	3.6人	8,602千円	3.4人	8,605千円	3.4人	8,605千円	3.4人	8,605千円	3.4人	8,605千円
人件費計(A)		29,672千円		29,604千円		29,574千円		29,574千円		29,574千円
直接経費(B)		1,400千円		1,400千円		1,400千円		1,400千円		1,400千円
総事業費(A+B)		31,072千円		31,004千円		30,974千円		30,974千円		30,974千円
財源内訳	H24年度決算		H25年度決算				H26年度当初予算			
	国庫支出金		千円		千円		千円		千円	
府支出金		千円		千円		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円		千円		千円
一般財源		31,072千円		31,004千円		30,974千円		30,974千円		30,974千円
平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容								金 額	
	生涯学習市民センター活動委員会負担金(各200千円×7センター)								1,400千円	

事業概要説明シート

事務事業番号 10502370006

事務事業名	生涯学習市民センター活動委員会事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	平成19年度 ~	担当部署	地域振興部 生涯学習課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
	① 活動委員会事業の参加者数	人	28,477	30,001	30,000
②					
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費 / 参加者数	円	1,091	1,033	1,051
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	活動委員会事業の参加者数の増加 市民の生涯学習の推進				
成果目標 達成状況	事業への参加者を増やしていくことで、市民の学びのきっかけ作りを推進していく。目標として活動委員会事業の参加者数の増加を設定しており、前年と比較して増加傾向にある。			目標達成度	目標を上回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのPR記事の掲載のほか、ポスター・チラシの配布・掲示、地域情報紙への記事掲載依頼、エフエムひらかた等のメディアの活用等により、PRを行っている。				
市民満足度	平成25年度施策評価に係る施策アンケート結果では、本事業を含む施策については、平均値より低いものの、重要度及び満足度は上昇傾向である。また、本事業の各イベント毎の参加者アンケートでは概ね満足とされる結果となっている。				
特記事項	平成18年10月に生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進体制の再編を行い、教育委員会社会教育部で実施していた事業を市長部局生涯学習課で実施することになった。再編前に実施していたセンター(旧公民館)の主催事業を見直し、平成19年度以降、市民との連携による活動委員会事業として実施している。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	事業の内容を検証しつつ、引き続き市民と連携して各種事業の企画・実施に取り組む。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容を見直し、目的に沿った地域の特色ある企画に特化すべきでは。 ・事務事業総点検により改善されたか。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10502370003

事務事業名	生涯学習事業		類似事業グループ	8.イベント関係	
事業期間	平成17年度 ~	担当部署	地域振興部 生涯学習課		
総合計画体系	(施策目標) 37:生涯学習を推進する				
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	市民あるいは他部署との連携事業や美術関係事業を展開することにより、学びの機会を提供する。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を行う。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業も実施している。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	他部局等との連携・協力により、市民の自主的な学びのきっかけ作りとなる文化学習事業を開催し、生涯学習を推進していく。

コスト																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>1.8人</td> <td>14,560千円</td> <td>1.7人</td> <td>13,045千円</td> <td>1.7人</td> <td>13,098千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>1.2人</td> <td>4,130千円</td> <td>1.0人</td> <td>3,166千円</td> <td>1.0人</td> <td>3,797千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>1.6人</td> <td>2,481千円</td> <td>1.9人</td> <td>2,997千円</td> <td>1.9人</td> <td>2,997千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>21,171千円</td> <td></td> <td>19,208千円</td> <td></td> <td>19,891千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>1,044千円</td> <td></td> <td>1,174千円</td> <td></td> <td>1,477千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>22,215千円</td> <td></td> <td>20,382千円</td> <td></td> <td>21,368千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	1.8人	14,560千円	1.7人	13,045千円	1.7人	13,098千円	再任用職員	1.2人	4,130千円	1.0人	3,166千円	1.0人	3,797千円	非常勤職員等	1.6人	2,481千円	1.9人	2,997千円	1.9人	2,997千円	人件費計(A)		21,171千円		19,208千円		19,891千円	直接経費(B)		1,044千円		1,174千円		1,477千円	総事業費(A+B)		22,215千円		20,382千円		21,368千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																																				
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																			
正職員	1.8人	14,560千円	1.7人	13,045千円	1.7人	13,098千円																																																			
再任用職員	1.2人	4,130千円	1.0人	3,166千円	1.0人	3,797千円																																																			
非常勤職員等	1.6人	2,481千円	1.9人	2,997千円	1.9人	2,997千円																																																			
人件費計(A)		21,171千円		19,208千円		19,891千円																																																			
直接経費(B)		1,044千円		1,174千円		1,477千円																																																			
総事業費(A+B)		22,215千円		20,382千円		21,368千円																																																			

財源内訳																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年度決算</th> <th>H25年度決算</th> <th>H26年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>22,215千円</td> <td>20,382千円</td> <td>21,368千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算	H25年度決算	H26年度当初予算	国庫支出金				府支出金				受益者負担(使用料等)				その他				一般財源	22,215千円	20,382千円	21,368千円
	H24年度決算	H25年度決算	H26年度当初予算																						
国庫支出金																									
府支出金																									
受益者負担(使用料等)																									
その他																									
一般財源	22,215千円	20,382千円	21,368千円																						

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	御殿山生涯学習美術センター美術関連事業	787千円
	人形劇関連事業	350千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10502370003

事務事業名	生涯学習事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	平成17年度	～	担当部署	地域振興部 生涯学習課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 生涯学習事業の開催回数	回	56	59	64
	② 総参加者数	人	11,433	11,318	11,500
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/実施延べ回数	円	396,696	345,458	333,875
	② 総事業費/総参加者数	円	1,943	1,801	1,858
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	市民あるいは他部局との連携事業や美術関係事業等の延べ回数の充実				
成果目標達成状況	事業回数を充実させ、市民への学習機会の提供を図る。目標として事業の延べ回数の充実を設定している。前年と比較して増加傾向にあり、目標値100回には達していない状況であるが、他部署や地域と連携するなど、従来なかった事業展開も行って、今後も内容の充実を図っていく。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのPR記事の掲載のほか、ポスター・チラシの配布・掲示、地域情報紙への記事掲載依頼、エフエムひらかた等のメディアの活用等により、PRを行っている。				
市民満足度	平成25年度施策評価に係る施策アンケート結果では、本事業を含む施策については、平均値より低いものの、重要度及び満足度は上昇傾向である。また、本事業の各イベント毎の参加者アンケートでは概ね満足とされる結果となっている。				
特記事項	平成18年10月に生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進体制の再編を行い、教育委員会社会教育部で実施していた事業を市長部局生涯学習課で実施することになった。センター(旧公民館)の主催事業については、平成19年度以降、活動委員会事業として実施している。平成23年2月に再編の検証を行い、生涯学習市民センターの認知度の向上、学習機会提供の充実などを今後の課題とした。 生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」については、他部署と連携して地域課題や行政課題をテーマにした学習講座を行う。また、地域コンサートにおいては、地元出身の音楽家に出演の機会を提供し、参加者層の拡大に努める。御殿山生涯学習美術センターの事業においては、地元商店会や地域保育所など地域との連携により、企画展作品の店舗での展示など事業協力をすすめる。市民文化団体である人形劇連絡会との連携による人形劇関連事業についても引き続き実施する。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	拡充・重点化	平成24年度より、御殿山生涯学習美術センターにおいて、地元の渚商店会など地域と年間を通じて連携し事業実施している。 各生涯学習市民センターにおいても、センターの特色を活かした地域活性化について検討し、公益財団法人、地元商店街などの民間事業者、さらに、専門性の高い大学や事業者との連携を進め、具体的には平成26年度はマナビスト講座を9回に増やすなど、より一層、効果的かつ効率的な事業実施に努める。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動やカルチャーCまたIT化など学びの場の多様化に応じ事業内容を見直しては。 事務事業総点検により改善されたか。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10503390011

事務事業名	文化振興課主催事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	平成21年度 ~	担当部署	文化振興課	
総合計画体系	(施策目標) 芸術文化活動の活性をはかる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	市民が文化・芸術に触れる機会を設けることにより、芸術・文化活動の活性化を図る。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	枚方市における文化芸術に関する事業のうち、文化振興課が主催する次の事業を実施する。なお、平成25年度については、本市出身の俳優・森繁久彌氏の生誕100年にあたる年であったことから、森繁久彌生誕100年記念事業を実施した。 ①ひらかた将棋イベント:小中学生を対象に枚方市にゆかりのある佐藤九段ほかプロ棋士による将棋教室を開催。 ②ひらかた工芸展の開催:枚方市民の美術工芸の創作意欲の向上と、枚方市の工芸文化の推進を図るため、枚方工芸会と共催で「ひらかた工芸展」を開催。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	文化芸術人口の裾野を広げ、市民の文化芸術活動の活性化を図るために必要である。

コスト									
		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費		
正職員	0.3人	2,400千円	0.8人	6,325千円	0.1人	794千円			
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円			
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円			
人件費計(A)		2,400千円		6,325千円		794千円			
直接経費(B)		482千円		14,467千円		426千円			
総事業費(A+B)		2,882千円		20,792千円		1,220千円			

財源内訳									
		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			
国庫支出金		千円		6,266千円	千円		千円		
府支出金		千円		千円	千円		千円		
受益者負担(使用料等)		千円		3,598千円	千円		千円		
その他		千円		千円	千円		千円		
一般財源		2,882千円		10,928千円	千円		1,220千円		

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	報償金(講師謝礼130,000円×1人、60,000円×3人)、印刷製本費、食糧費	382千円
	委託料(森繁久彌生誕100年記念事業)	14,085千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10503390011

事務事業名	文化振興課主催事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	平成21年度 ~	担当部署	文化振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 事業の実施回数	回	2	3	2
	② 将棋イベント参加者数	人	63	44	45
	③ ひらかた工芸展参加者数	人	1,196	1,111	1,150
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/事業実施回数	千円	1,441	3,643	610
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	より多くの市民に文化芸術に触れる機会の提供を図るため参加しやすい環境を作るとともに、本事業の発信PRに努め参加者の確保を行い、また効率的な運営を目標とする。				
成果目標達成状況	将棋イベント、ひらかた工芸展ともに参加者数が減少傾向にある。事業の実施回数については、森繁久彌生誕100年記念事業実施のため、1事業増加している。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのPR記事の掲載のほか、各生涯学習市民センターへのポスター掲示などによりPRを実施している。将棋イベントについては、市内の小中学校の将棋クラブに直接働きかけを行うほか、市内の将棋教室にもPRに協力していただいている。				
市民満足度	平成25年度施策評価に係る施策アンケート結果では、本事業を含む施策については、重要度が低く、満足度も低くなっているが、将棋イベントの参加者からは好評であるほか、ひらかた工芸展でのアンケートでは9割以上の方が「とてもよかった」「よかった」と回答されている。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 総点検での指摘を受け、事務事業名を文化振興課主催事業に変更し、あわせてひらかた工芸展開催事業の組み替えを行った。 森繁久彌生誕100年記念事業では、市民がプロの俳優や歌手と創り上げた朗読やコンサートで構成するオリジナルの公演を中心に、トークショーや展示会、映画会など11月から12月にかけて複数の事業を開催した。この事業は、市民の文化芸術活動が盛んで、名誉市民森繁久彌氏のふるさとであるからこそ実現できたオンリーワンの事業で、文化庁の補助金の採択を受けた他、1000人を超える入場者があったことから、事業収入の確保により最終的な市単費での事業費負担の大幅な軽減が図れた。 平成24年度まで実施していた漢字文化祭については、課題を整理した上、枚方市文化国際財団において友好都市「霊岩郡」との交流事業として位置づけ、引き続き実施する。 				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	将棋イベントについては、引き続きトーナメントと初心者講座を分け、誰もが参加しやすい環境を作るとともに、効率的な運営に努めた。今後は、さらにイベントの時間の短縮を図るなどし、子ども達が無理なく参加できるイベントとする。また、ひらかた工芸展については、より市民公募展の参加者数を増やすことにより、来場者の増加を図る。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの方向性は評価。 市として事業の必要性を検討すべきでは。 事務事業総点検により改善されたか。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10101030002

事務事業名	中小企業エコアクション21認証取得促進事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業期間	平成19年度 ~	担当部署	産業振興課
総合計画体系	(施策目標) 環境保全を進めるための活動を広げる		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	枚方市中小企業エコアクション21認証取得事業助成要綱
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	認証取得を促進し、環境保全に対する意識の高い企業の育成を図るとともに、持続可能な社会経済の実現に資することを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市内に事業所を有し、1年以上事業活動を行っている中小企業者で新規に認証取得をしようとする者
事業内容	エコアクション21認証取得に係る対象経費の助成
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	枚方市:ISO14001認証取得促進事業
事業の必要性	環境意識の高い企業の育成及び持続可能な社会経済の実現を図る。

コスト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員		0.0人	320千円	0.1人	395千円	0.1人	397千円
再任用職員		人	0千円	人	0千円	人	0千円
非常勤職員等		人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)			320千円		395千円		397千円
直接経費(B)			0千円		0千円		100千円
総事業費(A+B)			320千円		395千円		497千円

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源		320	千円	395	千円	497	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
		0千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10101030002

事務事業名	中小企業エコアクション21認証取得促進事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業開始年度	平成19年度 ~	担当部署	産業振興課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
	① エコアクション21助成金交付件数	件	0	0	2
②					
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷助成金交付件数	円	-	-	248,500
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	エコアクション21認証取得事業の増加				
成果目標達成状況	対象事業者からの申請なし			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	寝屋川市:寝屋川市ISO等認証取得事業補助金 平成25年度 申請実績なし 吹田市:エコアクション21認証取得事業補助金 平成25年度 申請件数2件 茨木市:環境管理制度認証取得事業補助制度 平成25年度 申請実績なし 摂津市:エコアクション21認証・取得事業補助金制度 平成25年度 申請件数2件				
事業のPR	本市ホームページへのPR記事の掲載のほか、産業振興課補助金PR冊子の配布などによりPRを行っている。				
市民満足度	平成25年度の施策アンケート結果では、本事業を含む施策について重要度・満足度ともに低くなっている。				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休止・終了(終期設定有)	エコアクション21認証取得制度の周知を図るとともに、制度内容及び事業の継続についても検討を行う。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 実績なく、「方向性」に合わせた「取り組み」を。 本事業の廃止の具体的な検討を要する。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休止・終了(終期設定有)	平成23年度以降、本事業の申請がない状況だが、環境保全に対する意識の高い企業を育成するための支援は必要であると考えており、「ISO14001認証取得促進事業」と本事業を一本化し、制度のPRに努める方向で検討する。

事業概要説明シート

事務事業番号 10302210010

事務事業名	伝統産業育成事業		類似事業グループ	7.補助金事業
事業期間	平成12年	～	担当部署	産業振興課
総合計画体系	(施策目標) 文化観光資源を整備し、まちづくりに生かす			
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	枚方市河内そうめんづくり技術継承研修奨励金交付要綱			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()			
目的(何のために)	伝統産業の河内そうめんづくりの技術継承及び後継者育成の負担軽減により、後継者不足の解消と伝統産業の振興を図る。			
対象(誰・何を対象に)	市内に所在する生産者の事業所において寒冷期に3月以上河内そうめんづくりの技術習得に係る研修を受ける者(継承者)及び継承者に対して研修を行う生産者(伝承者)			
事業内容	枚方市河内そうめんづくり技術継承研修奨励金の交付:11月から翌年の3月の間に3月以上連続して、市内で河内そうめんづくりの技術の習得に係る研修を受ける者に対して奨励金を交付する。技術伝承者(生産者):1月につき5万円 技術継承者(研修生):1月につき3万円。			
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし			
事業の必要性	本市の伝統産業である「河内そうめん」づくり技術の伝承が必要。			

コスト												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	0.1	人	880	千円	0.1	人	791	千円	0.1	人	635	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			880	千円			791	千円			635	千円
直接経費(B)				千円				千円			240	千円
総事業費(A+B)			880	千円			791	千円			875	千円

財源内訳												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			880	千円			791	千円			875	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容						金 額	

事業概要説明シート

事務事業番号 10302210010

事務事業名	伝統産業育成事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業開始年度	平成12年 ~	担当部署	産業振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 河内そうめんづくり技術継承研修奨励金の交付件数	件	0	0	2
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷奨励金交付件数	円	-	-	437,500
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	河内そうめんづくりの技術継承				
成果目標 達成状況	申請なし			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	比較事例なし				
事業のPR					
市民満足度	施策アンケート結果では、本事業を含む施策については重要度は低いが、満足度は高くなっている。				
特記事項	河内そうめん作りについては、江戸時代から本市東部地域の農家による農閑期の副業として発展したもので昭和58年に本市の伝統産業として位置づけたものである。その後、組織化・機械化など様々な保護育成が検討されたが、手作りへのこだわりや生産者の意向等もあり実現には至らず、生産者が減少した。そして、後継者の確保を図るため平成13年から本制度の実施に至ったものである。 技術継承者が本業の傍ら副業として平成21年度から独立してそうめんを生産・販売している。 技術伝承者が高齢等のため、河内そうめんづくりが困難になっている。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	技術伝承者の高齢化等の課題もあることから河内そうめん業の支援施策の見直しを行う。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性ある支援方策の検討 ・本事業の早急な検討を要する。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休止・終了(終期設定有)	後継者の技術習得については伝承者が複数年月をかけて技術を伝える必要があるが、伝承者の高齢化により技術の伝承自体が困難なため、現内容での本事業の継続は難しいと考える。なお、津田・穂谷におけるそうめん業は、現在では本事業を活用して技術継承された方、1軒が生産しているのみであり、後継者育成に関しては、時期をみて、新たな手法等を検討したいと考える。

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230014

事務事業名	産業振興コーディネーター事業		類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業期間	平成24年度 ~	担当部署	産業振興課	
総合計画体系	(施策目標) 市内産業の高度化・活性化を図る			
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	枚方市産業振興コーディネーター事業実施決裁
------	-----------------------

実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 株式会社 都市空間研究所)
	<input type="checkbox"/> その他()

目的(何のために)	市内の商店街や企業団地等が主体となって取り組む地域活性化に向けた各種事業を支援し、商店街および企業団地の効果的・持続的な活性化・再生を促進させることなどにより、市内産業の振興に寄与するため。
-----------	---

対象(誰・何を対象に)	市内において積極的に活性化に取り組む商店街及び課題を有する企業団地
-------------	-----------------------------------

事業内容	専門的な立場から商店街等へのコーディネーター支援を行い、商店街の自発的な取り組みをより効果的なものとし、持続的かつ発展的な活性化モデルの創出を図る。 ①ヒアリング・コンサルティング ②活性化の取り組みの現地確認・アンケートの実施による現状把握 ③ワークショップ等を通じた店主らへの意識付け ④改善した活性化プランの策定と実施 ⑤結果の評価・報告と手引書の作成 ⑥取り組みのフォローアップとアドバイス
------	--

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪市において、同様にコーディネーター派遣により商店街の活性化支援を実施している。また、民間においては、(株)全国商店街支援センターにおいて、回数を決めてコーディネーターを派遣し、「商店街活性化計画」の作成支援を実施している。
--------------------	---

事業の必要性	商店街及び企業団地等の持続的な育成と、まちづくりの観点を踏まえた産業振興の促進を図る
--------	--

コスト	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.3人	2,160千円	0.3人	2,372千円	0.3人	2,381千円
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)	2,160千円		2,372千円		2,381千円	
直接経費(B)	4,860千円		3,900千円		5,849千円	
総事業費(A+B)	7,020千円		6,272千円		8,230千円	

財源内訳	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金		千円		千円		千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源	7,020	千円	6,272	千円	8,230	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	業務コンサルティング委託料	3,900千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10303230014

事務事業名	産業振興コーディネーター事業	類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業開始年度	平成24年度 ~	担当部署	産業振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 活性化支援件数	件	3	4	3
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷活性化支援件数	円	2,340,000	1,568,000	2,743,333
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	専門的なコーディネーターの支援により、各団体の活性化及び市内産業の振興を図る。				
成果目標達成状況	積極的に活性化に取り組んでいる商店街等に対してコーディネーターを派遣し、それぞれの実情に合わせた支援を実施している。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	大阪市において、同様にコーディネーター派遣により商店街の活性化支援を実施している。また、民間においては、(株)全国商店街支援センターにおいて、回数を決めてコーディネーターを派遣し、「商店街活性化計画」の作成支援を実施している。				
事業のPR					
市民満足度	平成25年度の施策アンケート結果では、本事業を含む施策について重要度・満足度ともに低くなっているが、支援団体のアンケートでは、「問題点の整理をはじめ、来場者アンケートやワークショップの実施などを通して、自分たちではなかなか実施できないことをやってもらえて、客観的に商店街を見つめ直すことができた。新しい取り組みへの検討も行うことができた。」等の意見が聞かれている。				
特記事項	コーディネーターの支援に基づく取り組みにより、加盟商店数増、地域資源(神社、美術センター)と連携した取り組み、ゆるキャラ・B級グルメによる情報発信強化、商店街間の連携等によりリピーターの確保等、活性化が図られた。また、参加者の活性化に向けた課題の再確認・意識向上が図られたところである。本事業は、即効性のあるものばかりでなく長期的な効果測定も必要と考えており、実施後3年となる平成26年度にこれまで実施した支援事例を集約した冊子作成や事例発表による周知を図るとともに、事業の有効性を見極め、今後のあり方を検討する。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	支援団体への継続したフォローアップを実施するとともに支援した団体の取り組み事例等を集約し、市内産業の活性化に向けたより効果的な施策展開を図る。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み方策は評価。 ・事業目的に対して、効果をあげているのか。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号10202110001

事務事業名	エコ農産物普及拡大事業負担金交付事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業期間	2004年 ~	担当部署	地域振興部農政課
総合計画体系	(施策目標) 「農」を守り、活かす		
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等 (市議会) (監査委員)

根拠法令	エコ農産物普及拡大事業負担金交付事業実施決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(市が枚方市エコ農産物推進協議会へ負担金を支出、事業の実施運営は同協議会が行う)
目的(何のために)	大阪エコ農産物認証制度を普及・拡大することにより、減農薬・減化学肥料の環境にやさしい農業を推進し、市民に安全安心な農産物をより多く供給。また、農産物に付加価値をつけることにより本市の農業振興を図る。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	安全で安心な農産物を市民に供給すると共に環境に配慮した農業に取り組む農業者を支援するため、大阪エコ農産物認証事業実施要綱第5の2に基づき、平成16年度に北河内農業協同組合、大阪府中部農と緑の総合事務所、枚方市農業委員会、枚方市生鮮農産物供給組合、生活協同組合おおさかパルコープ枚方市行政委員会、枚方市で構成される「枚方市エコ農産物推進協議会」(会長は地域振興部長、事務局は農政課)が設立され取り組みが始まった。 平成17年度より事業拡大・充実に向け必要な経費を枚方市から枚方市エコ農産物推進協議会へ負担金を交付している。

目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪府内
--------------------	------

事業の必要性	市民に安全安心な農産物を供給できるためにも、事業拡大にかかる負担金交付は必要である。
--------	--

コスト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.20人	1,600千円	0.25人	1,977千円	0.25人	1,985千円	
再任用職員	0.70人	2,430千円	0.60人	1,939千円	0.60人	2,324千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		4,030千円		3,915千円		4,309千円	
直接経費(B)		470千円		700千円		500千円	
総事業費(A+B)		4,500千円		4,615千円		4,809千円	

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金	37	千円		98	千円	69	千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	
その他		千円		千円		千円	
一般財源	4,463	千円		4,517	千円	4,740	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	エコ農産物普及拡大事業負担金	700千円

事業概要説明シート

事務事業番号10202110001

事務事業名	エコ農産物普及拡大事業負担金交付事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業開始年度	2004年 ~	担当部署	地域振興部農政課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 大阪エコ農産物の認証申請栽培面積	a	5,072.32	5,397.62	4,500.00
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 1aあたりにかかるコスト	円	1,137	837	1,053
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	安全で安心な農産物を市民に供給するとともに環境に配慮した農業に取り組む農業者の確保				
成果目標 達成状況	大阪エコ農産物の認証申請件数・認証申請栽培面積も増加している。			目標達成度	目標を上回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのほか、販売会の開催、バスツアー実施等でPRを行っている。				
市民満足度	市内の直売所の売り上げ、エコ農産物販売会の売れ具合、一般小売店の産直コーナーの拡充等をみると、枚方産の安心・安全で新鮮な野菜のニーズは高いと思われる。このことから考えて、概ね満足していると思われる。				
特記事項	特に、平成25年度においては、エコ農産物作付ほ場であることがわかる看板を掲示し、エコ農産物を販売するときの防曇袋の作成等普及拡大に努めた。				

一次点検における 事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	大阪エコ農産物の普及拡大のため、引き続き継続する。
一次評価結果	・10年間の成果と課題をまとめ効果検証が必要では。	
二次点検における 事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号10103070004

事務事業名	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業期間	1995年 ~	担当部署	地域振興部農政課
総合計画体系	(施策目標) 人と自然との共生を図る		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業実施決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	津田地蔵池オアシス共園(ため池)の維持管理を円滑に図ることにより、豊かな水辺空間としての市民の憩いの場の提供や農業用水を確保する。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	大阪府のオアシス構想に基づき、農業用ため池であった津田地蔵池を市民の親水空間として、平成5年度から平成8年度にかけて整備。共園を維持管理していくため、津田区、津田財産区管理会、津田水利組合、津田支部、津田福寿会、津田子供会、枚方市で構成される地蔵池オアシスコミュニティ協議会(事務局:農政課)に協定書に基づく負担金を支出している。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪府内
事業の必要性	今後、施設の老朽化等により更なる維持管理費用が発生することを考慮しても、ますますこの負担金交付事業が必要である。

コ ス ト																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度決算</th> <th colspan="2">H26年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>0.10 人</td> <td>800 千円</td> <td>0.35 人</td> <td>2,767 千円</td> <td>0.35 人</td> <td>2,778 千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>0.00 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.00 人</td> <td>0 千円</td> <td>0.00 人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>800 千円</td> <td></td> <td>2,767 千円</td> <td></td> <td>2,778 千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>1,656 千円</td> <td></td> <td>1,756 千円</td> <td></td> <td>1,755 千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>2,456 千円</td> <td></td> <td>4,523 千円</td> <td></td> <td>4,533 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	0.10 人	800 千円	0.35 人	2,767 千円	0.35 人	2,778 千円	再任用職員	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円	非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人件費計(A)		800 千円		2,767 千円		2,778 千円	直接経費(B)		1,656 千円		1,756 千円		1,755 千円	総事業費(A+B)		2,456 千円		4,523 千円		4,533 千円
	H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算																																																				
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																			
正職員	0.10 人	800 千円	0.35 人	2,767 千円	0.35 人	2,778 千円																																																			
再任用職員	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円																																																			
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円																																																			
人件費計(A)		800 千円		2,767 千円		2,778 千円																																																			
直接経費(B)		1,656 千円		1,756 千円		1,755 千円																																																			
総事業費(A+B)		2,456 千円		4,523 千円		4,533 千円																																																			

財源内訳																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24年度決算</th> <th>H25年度決算</th> <th>H26年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担(使用料等)</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,456 千円</td> <td>4,523 千円</td> <td>4,533 千円</td> </tr> </tbody> </table>		H24年度決算	H25年度決算	H26年度当初予算	国庫支出金	千円	千円	千円	府支出金	千円	千円	千円	受益者負担(使用料等)	千円	千円	千円	その他	千円	千円	千円	一般財源	2,456 千円	4,523 千円	4,533 千円
	H24年度決算	H25年度決算	H26年度当初予算																						
国庫支出金	千円	千円	千円																						
府支出金	千円	千円	千円																						
受益者負担(使用料等)	千円	千円	千円																						
その他	千円	千円	千円																						
一般財源	2,456 千円	4,523 千円	4,533 千円																						

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金	1,756 千円

事業概要説明シート

事務事業番号10103070004

事務事業名	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業	類似事業グループ	6.負担金交付
事業開始年度	1995年 ~	担当部署	地域振興部農政課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	①				
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	市が地元の関係団体により構成された協議会へ維持管理に要する費用を負担金として支出することにより、地域住民と行政が一体となって、人々が「共にため池等を守り、地域への愛着を高める」、「共に集い、ふれあう」、「共に自然を守り、環境を見つめなおす」など、地域コミュニティを形成するとともに、都市生活に「やすらぎ」、「うるおい」、「憩い」の場を提供していく				
成果目標達成状況	津田地蔵池オアシス共園を維持するためには、施設の維持管理、清掃費用、光熱水費、保険等の費用が発生する。施設の老朽化により、現在支出している交付金だけでは維持管理が困難になってきている。今後のことを考慮すると、維持管理費用がますます逼迫することが想定される。			目標達成度	測定できず
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	特になし				
市民満足度	アンケート等未実施				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	地蔵池オアシス共園は、地域共有の貴重な資源であるため池を地域住民と行政が一体となって保全・活用する目的で整備された背景がある。そのため、今後とも本事業を継続し地域住民とともにこの共園の維持管理を行っていく。
一次評価結果	・管理責任を明確にし、安全・効率的な維持管理を検討しては。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号10202120001

事務事業名	農業ファンクラブ推進事業補助事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業期間	1994年 ~	担当部署	地域振興部農政課
総合計画体系	(施策目標) 「農」とのふれあいを促進する		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	農業ファンクラブ推進事業補助事業実施決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	農業に関心をもつ市民によって結成された枚方市農業ファンクラブ(平成4年設立)の活動を推進、支援することで、市民の農業に対する理解を一層深め、将来的には遊休農地等を活動拠点とする「援農隊」への発展を目指す。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	ファンクラブ農園における援農活動、各地区懇談会の開催による会員の交流、農作業を通じた各種研修会の開催、地元農家との交流、体験農業として米作り(面積:約2, 200㎡)を支援などの活動を行う枚方市農業ファンクラブに対して組織運営の補助を行う。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	枚方市の農業振興に寄与するためにも必要である

コ ス ト		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.2人	1,600千円	0.3人	2,372千円	0.3人	2,381千円	
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円	
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費計(A)		1,600千円		2,372千円		2,381千円	
直接経費(B)		80千円		80千円		80千円	
総事業費(A+B)		1,680千円		2,452千円		2,461千円	

財源内訳		H24年度決算		H25年度決算		H26年度当初予算	
国庫支出金		千円		千円		千円	
府支出金		千円		千円		千円	
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	
その他		千円		千円		千円	
一般財源	1,680千円		2,452千円		2,461千円		

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	農業ファンクラブ推進事業補助事業	80千円

事業概要説明シート

事務事業番号10202120001

事務事業名	農業ファンクラブ推進事業補助事業	類似事業グループ	7.補助金事業
事業開始年度	1994年 ~	担当部署	地域振興部農政課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① ファンクラブ会員が援農を行っている農園数	ヶ所	6	5	5
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/農園数	千円	280	490	492
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	ファンクラブ農園への入園、会員同士の交流促進、シンボル野菜「移植大根」・「人参・キャベツ」の栽培促進、地元農家との交流、講習会の開催、視察研修の実施等を通じて都市住民と農家が互いに理解を深め、枚方市の農業振興に寄与すること。				
成果目標 達成状況	ファンクラブ農園(地域密着型)への入園通じて直接農作物作りを体験することで農との交流及び、都市農業への理解の深化を促す。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	特になし				
市民満足度	アンケート等未実施				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	ファンクラブ活動の自立運営への転換が必要である。
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み方策は評価、自立化と活性化に向けた具体的検討を。 ・時限的な補助金対象を考慮する必要性がある事業のように思われる。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号10202120003

事務事業名	ふれあいツアー開催事業		類似事業グループ	8.イベント関係
事業期間	1994年 ~	担当部署	地域振興部農政課	
総合計画体系	(施策目標) 「農」とのふれあいを促進する			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	枚方市ふれあいツアー推進協議会規約
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先:枚方市ふれあいツアー推進協議会) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するなどの体験を通じ、都市農業に対する理解を深めてもらう。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	市が枚方市ふれあいツアー協議会に業務委託し、同協議会より市内一円において各農家に農作業依頼、その栽培された新鮮な農産物を直接市民が収穫体験をする。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	農業者への支援、地産地消の推進、市民の農業や農地保全への理解を深めるためにも、今後も事業の継続が必要である。

コスト												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	0.2	人	1,600	千円	0.4	人	3,162	千円	0.4	人	3,175	千円
再任用職員	0.5	人	1,736	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			3,336	千円			3,162	千円			3,175	千円
直接経費(B)			1,800	千円			1,800	千円			1,800	千円
総事業費(A+B)			5,136	千円			4,962	千円			4,975	千円

財源内訳												
	H24年度決算				H25年度決算				H26年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			5,136	千円			4,962	千円			4,975	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	枚方市ふれあいツアー協議会委託料		1,800 千円

事業概要説明シート

事務事業番号10202120003

事務事業名	ふれあいツアー開催事業	類似事業グループ	8.イベント関係
事業開始年度	1994年 ~	担当部署	地域振興部農政課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
	① 農業ふれあいツアーへの参加者数	人	4,935	4,275	8,080
② 農業ふれあいツアーへの開催数	回	22	20	19	
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 委託料/開催数	千円	81.8	90.0	94.7
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	参加者のリピート率を上げるために、よりよい品質のものを、一般小売店の店頭価格の3割引程度で販売する、店頭より先に購入できる、1回でのツアーにおいて多品目が収穫できる、珍しいものや鮮度のいいもの等、収穫が楽しい作物を作付してもらうことで、魅力向上にむけた取り組みを図る				
成果目標達成状況	直売所の定着、一般小売店店頭での取り扱い増加、インターネット販売等購入の機会の多様化により、新鮮な農作物が手に入る状況である。しかし、ふれあいツアーは、収穫の体験を通して都市農業に対する理解を深めてもらうことが目的であり、参加者は、充分満足されている。天候に左右されるため、参加者数は変動した。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	「広報ひらかた」紙面や本市ホームページへのPR記事の掲載のほか、エフエムひらかたやケーブルテレビといったメディアの活用、JA北河内各支店においてチラシの配付及びポスター掲示によりPRを行っている				
市民満足度	収穫体験ができ、安全で安心な新鮮野菜を低価格で購入できることもあり、参加者においては満足度が高い。				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	改善	本事業は、市民には好評であるが、農業者の高齢化、後継者・担い手不足により農家への負担が大きく、また都市化に伴う農地の減少により、地区によっては継続が困難になってきている。参加者・リピーターを増やすため、農業者の生産意欲の向上を図るため、これまでの問題点を踏まえて平成26年度から農業者への配分の見直し、販売価格の見直し等の改善策を検討、実施している。
一次評価結果	・食育、販売イベントなどとの連携を図り有効な事業継続方法を探るべきでは。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		

事業概要説明シート

事務事業番号10202120020

事務事業名	エコレンゲ米等産地消推進事業	類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業期間	2013年 ~ 2014年	担当部署	地域振興部農政課
総合計画体系	(施策目標) 「農」を守り、活かす		
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等 (市議会) (監査委員)

根拠法令	エコレンゲ米等産地消推進事業実施決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先:北河内農業協同組合) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	レンゲ草を有機肥料として使い、農薬と化学肥料の使用量を慣行栽培の5割以下に削減して栽培された「大阪エコ農産物」であるエコレンゲ米を学校給食へ供給することで、児童の食農教育・産地消にとりくみ、地域の農業を振興することを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市内の小学生
事業内容	市内の学校給食へ供給している枚方産米(あゆみ米)を、枚方産エコレンゲ米に移行し、それに係る費用(あゆみ米の集荷・供給に係る費用との差額)を負担する。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	なし
事業の必要性	農政課として、環境にやさしい農業振興するためにも、市民に安全安心な農産物を供給するためにも継続実施しなければならない事業である。

コ ス ト												
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算				
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費					
正職員	0.00	人	0	千円	0.15	人	1,186	千円	0.15	人	1,191	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			0	千円			1,186	千円			1,191	千円
直接経費(B)			470	千円			585	千円			1,613	千円
総事業費(A+B)			470	千円			1,771	千円			2,804	千円

財源内訳												
		H24年度決算			H25年度決算			H26年度当初予算				
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			470	千円			1,771	千円			2,804	千円

平成25年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	エコレンゲ米等産地消推進事業委託料		585 千円

事業概要説明シート

事務事業番号10202120020

事務事業名	エコレンゲ米等産地消推進事業	類似事業グループ	23.その他サービス提供
事業開始年度	2013年 ~ 2014年	担当部署	地域振興部農政課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H24年度	H25年度	H26年度(見込み)
活動実績	① 学校給食へのエコレンゲ米の供給量(玄米ベース)	kg	17,696	21,933	54,000
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 1kgあたりのコスト	円	27	81	52
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	大阪エコ農産物の普及・促進、児童の食農教育、産地消の推進に取組み、農業を振興を図る。				
成果目標達成状況	本年度は2ヶ月程度供給する計画であったが、天候不順やそれに伴う病気の発生などによりエコレンゲ米の集荷が見込みよりも下回ったこと等から、平成25年度の供給は1ヶ月分(19.7t)となった。			目標達成度	目標を下回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	-				
事業のPR	特になし				
市民満足度	アンケート・調査等未実施				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	休止・終了(終期設定有)	平成26年度が事業終了年度であり、学校給食へ3ヶ月分供給することを目標としているが、エコレンゲ米の集荷が課題である。 エコレンゲ米の生産拡大及び集荷増に向けての施策(レンゲ種子購入補助、農振協においてのエコレンゲ栽培田における土壌調査の無料化、レンゲ種子の無料配布等)を検討するとともに、この事業については今後も継続していきたい。
一次評価結果	・自然環境と食、食育の観点から枚方産のPR方法と今後の有効な事業展開方法を検討。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		